

# 男子ホッケーU18日本代表チーム 日韓交流事業韓国遠征

日付	2015年12月6日 11:00~		
場所	大韓民国大邱市	天候	曇り
試合	第2戦	通算結果	日本 1勝1敗/2戦

## RESULT

Country

**Japan**  
U18

5	full	5	-	6	6
	third	2	-	2	
	half	1	-	2	
	first	2	-	1	

Country

**Korea**  
U18

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
15	1	塚田 駿(GK)			
レ	25	山本 健悟(GK)			
レ	3	青木 宏晃			
レ	4	浦下 陸			
レ	5	的場 洸希			
19	19	高木 温樹			
レ	20	島田 麗央			
14	8	吉川 大地			
レ	21	小澤 航太			
レ	10	館 亮佑			
レ	11	亀崎 信一			
レ	22	伊帳田 樹			
レ	13	杉山 惇士(C)			
14	14	加藤 凌聖			
レ	15	中村 健太郎			
	23	折戸 開			
	24	沖津 光輝			
19	18	日置 元勇			
Coach		三上 克典			
Manager		穴田 直樹			
UMPIRE		仙名 洋一 (JPN)			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	13	杉山 惇士	FG	1:0
KOR	14	LEE GANGSAN	FG	1:1
JPN	15	杉山 惇士	FG	2:1
KOR	19	KIM CHANYEOP	FG	2:2
KOR	27	JO JEONGHO	PC	2:3
JPN	29	日置 元勇	FG	3:3

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
レ	1	JANG EUN SOO			
レ	2	LEE GANG SAN			
レ	3	KIM IN TAE			
レ	4	LEE JEE HUN			
レ	5	HA JUN YOUNG			
14	6	JEON MIN GYU			
レ	7	YANG HYEON JUN			
レ	8	NA HAN HEUM			
26	9	KIM EUN SU			
28	10	KIM TAE YEONG			
レ	11	KIM HYEOK			
レ	12	KIM YU SEOB			
レ	13	JO JEONG HO (C)			
13	14	KIM CHAN YEOP			
28	15	JE WON WOO			
レ	16	KIM SE JIN			
Coach		LEE WAN HO			
Manager		YOO MOON KI			
UMPIRE		SEO DONG UN(KOR)			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	35	加藤 凌聖	FG	4:3
KOR	37	NA HANHEUM	FG	4:4
JPN	39	加藤 凌聖	FG	5:4
KOR	43	LEE GANGSAN	PS	5:5
KOR	59	LEE GANGSAN	FG	5:6

Q1. 韓国センターパスで試合開始。昨日よりさらにスピードアップした両チームは互いのサイド攻撃をペアブロックで食い止める。日本は積極策により早いプレスから、ボールを奪いカウンターを仕掛けたい。しかし、韓国の本領が発揮されつつあるのか、徐々に押され始める。レフトからの執拗な攻めに苦しむ。しかし、11分日本もカウンターでRサイドを突き11.亀崎がシュートを放つが得点ならず。その2分後13分に13.杉山が中盤で相手ボールをカットしカウンター。そのままドリブルインで相手GKのスライディング気味のセーブに対しプッシュで浮かしながらのシュートが決まり、今回も先取点を挙げる。だが、14分に相手LWのサイドドリブルを止められず、左から絞られゴール前にボールが送られ押し込まれ1失点。日本も再び攻め上がリライトから絞りこんで、落としたところを13.杉山が再びバックハンドシュート。見事に決まり2点目を入れそのまま終了。昨日同様1点リードで第2Qへ。Q2. スピーディーな攻防から韓国19分Rサイドドリブルでサークルインし、中央へ折り返され左側でタッチシュート手痛い失点で2-2の同点。日本の中距離パスがカットされ始め、韓国の攻撃が増してくる。何回かピンチを凌ぐが韓国のR攻撃からPCを取られ左上へのシュートをGK塚田がセーブするも19分リバンドをうまく押し込まれ3失点となる。しかし、粘る日本も29分敵陣内で左から中央へ折り返しそのままサークル中央へ打ち込んだボールを18.日置がダイレクトで叩き込み再び同点とする。そのまま終了。Q3. 日本ボールでスタート。激しさが増す韓国の攻撃でPCを3分に取りられるが、GK山本が好セーブ。韓国はバウンド処理に苦しむ日本チームのウィークポイントについてきているのか、浮き球でのパスが多くなる。そんな中中盤でボールを奪うとトップの加藤にパスが渡り、35分14.加藤がドリブルからサークルやや右に入りフリーシュート。きれいに決まり4-3とリードする。37分韓国はRサイドのロングパスをトップにつなぎ、そのままサークル内へ切り込む。右からバックハンドシュートが決まり同点とされる。39分再び日本もロングパスが中央トップの14.加藤につながりサークルトップ付近からのシュートが見事に決まり5点目三度リードする。43分相手のスクープをDFが処理をミスしキーパーサークル外でクリアするも足に当たりPSを取られる。右下に決められ、5-5の同点となりそのまま終了。Q4. 最終ラウンドは一進一退から徐々に韓国ペースとなりプレーの激しさが増していく。残り時間が少なくなる中57分韓国のドリブルでサークル右へ流れながらGKをかわすとき反則を取られPSとなる。しかし、左下のボールをGK山本がセーブ。この機に攻め込みたい日本だが、ミスも目立ち始め攻めきれない。韓国は左側から縦にボールを送りトップが中央部に流れながらフリーシュート。5-6とリードを許す。疲労も見える日本は最後の力を振り絞り攻撃するも、韓国の守備に阻まれ試合終了となる。取って取られる見ごたえのあるゲームであったが韓国の勝利への意欲が勝ったのか、最終的に押し切られ残念な結果となった。

JPN U18	8	シュート数	16	KOR U18
	0	PC数	8	

文責 男子U18コーチ 中嶋 高彦